



大学連携プラットフォーム北九州

北九州市内の 11 大学・3 短期大学で構成



本日（8月24日）設立

大学を取り巻く環境

我が国における 社会課題の変化

- ・急速な少子化
(18歳人口の減少)
- ・労働人口の減少 等

大学進学者数の 減少

- ・約63万人▶約46万人
(2021年) (2040年)

高等教育への 期待と要望

- ・学修者本位の教育
- ・研究力向上への取組
と社会課題の解決

大学も改革が必要

大学は今後ますます**地域（北九州市）**にとって
必要とされる存在になることが重要

プラットフォーム設立の目的

P3/7

北九州市内の大学が連携して対応していくため
大学連携プラットフォーム北九州を設立

北九州市の高等教育の振興と地域連携の活性化
および課題解決に寄与することを目的に設立

若者(学生)
の受け皿
地域貢献・
連携機能

質の高い教育
・研究機能

地元産業への
優秀な人材輩出

プラットフォーム設立のメリット

P4/7

大学のメリット 北九州市が学びの場 地域のメリット

- ・大学の教育および研究力向上(PBL等)
- ・大学ブランド力の向上(学生募集等)
- ・産学官連携による研究資金の獲得
- ・人材や施設の共用、合同研修の実施等



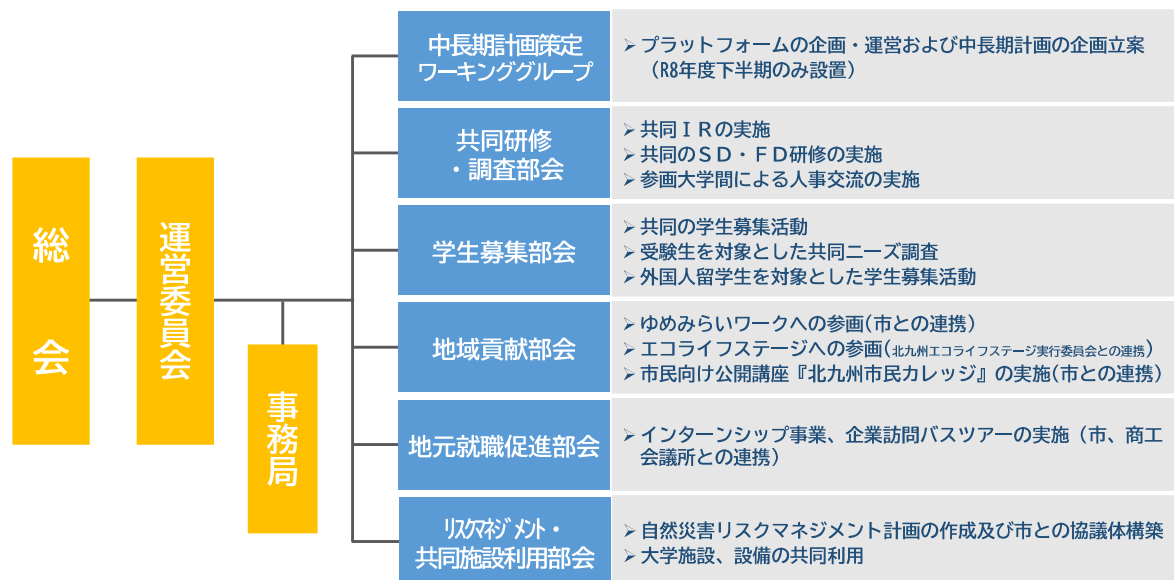
北九州市の
「**知の総和**」向上

- ・地域課題の解決、活性化に貢献
- ・地域の人財育成や防災に貢献
- ・学生の就職率や地元定着力向上
- ・人口減少に対応、稼げるまちの実現

(出展：イメージ図は北九州市役所HP)

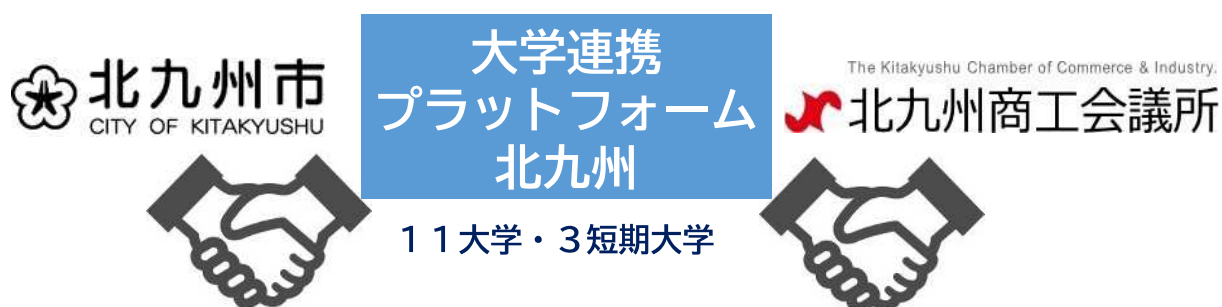
プラットフォームの組織体制

目的『北九州市の高等教育の振興と地域連携の活性化及び課題解決に寄与すること』



北九州市様および北九州商工会議所様との連携

包括連携協定の締結
(本日8月24日)



- プラットフォームの運営や活動への支援
- プラットフォーム内で実施する会議体へ参加
- 各部会への参画や、取組みとの連携

R8年度の具体的な取り組み内容

中長期計画策定 ワーキンググループ	➤プラットフォームの企画・運営および中長期計画の企画立案 (R8年度下半期のみ設置)
地域貢献部会	➤ゆめみらいワークへの参画(市との連携) ➤エコライフステージへの参画(北九州エコライフステージ実行委員会との連携) ➤市民向け公開講座『北九州市民カレッジ』の実施(市との連携)
地元就職促進部会	➤インターンシップ事業、企業訪問バスツアーの実施(市、商工会議所との連携)
リスクマネジメント・ 共同施設利用部会	➤自然災害リスクマネジメント計画の作成及び市との協議体制の構築

今後、中長期計画を策定し、プラットフォーム独自の取り組みや市・商工会議所と連携した取り組みを企画・実践していきます！